

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date		2024 年 6 月 23 日
ふりがな 氏 名 / Name		学生番号/ Student ID
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	教育 School/Graduate School	2 年次(Year) (留学開始時点(When Started))
派遣プログラム Name of Program	HUSA 交換留学制度	
留学先大学 Host University	国立成功大学 (国名/Country : 台湾)	
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	文学院 台湾文学系	
在籍身分 Status at Host University	交換生 (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)	
留学期間 Period of Program	2023 年 8 月 29 日 ~ 2024 年 6 月 23 日 (YYYY /MM/ DD) (YYYY /MM/ DD)	

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	中国語の語学力を簡単な会話レベルから、ビジネスレベルにまで向上させることを1番の目的に 10 か月間の交換留学を志望した。また海外での長期間に及ぶ生活を体験すること、国外という別の視点から日本を捉えなおすこと、さらに中華圏に住む人々を理解するという目的もあった。 国立成功大学は台湾の台南に位置する国立大学で、「台清交成」と呼ばれる台湾のエリート大学のうちの1つであることから、広島大学とは異なる環境のもとで多くのことを高いレベルで経験できると考えた。また成功大学はその4つのエリート大学のうち、唯一南部に位置する大学であるだけでなく、比較的日本からの交換留学生が少ない。広島大学からの交換実績も過去にはなかったことから、珍しい経験をしたいという思いがあり、この大学を選んだ。 ※台清交成：台湾大学（台北） 清華大学（新竹） 交通大学（新竹） 成功大学（台南）
留学準備を始めた時期（応募する何か月前ですか？） Commencement of Preparation for Application	校内応募は1月初旬（3月ごろに現地大学へ応募） その前年の11月には、応募先大学の最低基準となる HSK3 級を取得している。ちょうどそのころから、中国大陸、香港、台湾に位置する広島大学の提携大学を調べ、自身の志望する交換先大学を決めた。 また留学期間については半年にするか、1年にするかギリギリまで悩んだが、半年だと実質5か月程度と短くなってしまったため、1年間留学することに決めた。計画的に大学の授業を履修すれば、1年間の留学をしても4年間で通常通り卒業することが十分可能だと思う。（教育学部の場合）
事前準備について(どのような準備をしたか、しておけばよかったか) Preparation Completed Prior to Study Abroad	校内応募：中国大陸のビザ政策が厳しかったこともあり、台湾への留学を直前に決定した。当時、大陸のビザ政策が厳しくなければ南京大学や武漢大学を志望していた。また校内応募では第3希望まで記入できる。 語学試験：留学決定後に HSK4 級を取得した。 現地大学応募：自伝、学修計画、語学試験結果など（基本的に通過する） 留学手続き：健康診断、ビザ、中国語オンラインテスト、寮の申請

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type : 居留ビザ	
	ビザ申請先 / Location of Visa Application : 台北駐大阪経済文化弁事処	
	提出書類 / Required Documents : 現地大学受け入れ許可書…7月半ばごろに大学へ届く、原本とコピー両方 健康診断証明書…東広島市内の病院では対応できないと言われた 広島駅内にある内科が対応可能で、1万円程度（高くない） 現住所証明…戸籍の証明 市役所での発行（マイナンバーだとコンビニでも？） 在学証明書…広島大学のもの ビザ申請書…オンラインでフォームに記入、印刷 など	
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process : 2週間程度	
	その他必要な事前手続き Other Required Procedures	
その他必要な事前手続き Other Required Procedures		日本外務省への届け出（在留届）
出国年月日 / Date of Departure		2023年 8月 29日 (YYYY / MM / DD)
経路（往路） / Route (Outward)		関西国際→台北桃園（エバー航空）
現地でのお迎え Pick-up Service		無/No
到着後オリエンテーションの有 無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	有/Yes	有の場合 期間/Period : 8月30日午後 (If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation 大学紹介、成績の仕組み、安全教室（中国語の説明か英語の説明か選べる）
帰国年月日 / Date of Return		2024年 6月 23日 (YYYY / MM / DD)
経路（復路） / Route (Return)		台北桃園→関西国際（エバー航空）

3. 留学費用について / Expenses

支出額 / Expenses	総額 Total Amount	130 万	円/yen
	内訳 Details	渡航費（往復） / Flight Ticket (Round Trip)	8 万 円/yen
		ビザ申請手数料 / Visa Application Charge	3 万 円/yen
		予防接種費用 / Immunization Charge	1 万 円/yen
		保険料 / Travel Insurance	11 万 円/yen
		教材費（授業料以外の学費） / Learning Material (Extra Tuition Fee)	1 万 円/yen
		宿舍費（住居費） / Accommodation Fee	20 万 円/yen
		光熱費 / Utility Cost	1 万 円/yen
		食費 / Meal Cost	50 万 円/yen
		通信費（インターネット・携帯） / Internet, Phone	3 万 円/yen
		交通費（宿舍～大学間） / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)	1 万 円/yen
		交際費 / Social Expenses	12 万 円/yen

	その他 / Others (国内旅行費)	20 万	円/yen
	(費)		円/yen
	(費)		円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について（カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等） / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	(前期：9月初旬～1月初旬) ①台湾文学史 1 台湾文学系での台湾文学の歴史に関する授業 毎時間2～3人のグループでの話し合いがある。さらに課程内で1回30分程度のプレゼンテーションが必要。私の場合は台湾文学系のクラスメイトがかなり助けてくれたため単位を取ることができたが、難易度は高い。留学生であることを教授に伝えるとプレゼンテーションのテーマを選ばせてもらえる。中間、期末テストもある。 ②社会と映画 日本での教養科目にあたる授業 台湾の文化や政治、経済などに関わる映画を見るのが中心の授業 講演という形で、議会議員や白色恐怖時代の体験者のお話を聞いたときもあった。(毎年講演者は変わるらしい) 期末レポートは1つ映画を選んで感想を中国語でA4、7ページ。 中国語が分からないなら他の授業を選べというスタンスで外国人に対する配慮は全くないので注意。 ③当代社会議題探討 華語中心での留学生向け中国語授業（日常会話応用レベル） 直接教授による中国語の授業で、20人程度の外国人留学生が受講する。 先生独自の教科書を使い、発音から単語、文法、会話を総合的に学ぶ。 先生は非常にフレンドリーで、期末テストのみ。 1週間に1回の中国語授業は少ないと感じるかもしれないが、授業以外で台湾人とお話しするなかでスピーキング能力を鍛えたり、他の授業や学内の講演会などでリスニング練習したりすれば中国語能力は十分伸びる。 ④初級台語會話 台湾文学系での留学生向け、台湾語の授業 ただ教科書をずっと音読するだけのことが多かった。 面白い授業ではなかったが、台湾にいるなら台湾語も少しぐらいという思いで履修した。あいさつ程度の台湾語を少し理解できるようになり、街に出て話してみるとお店の人におまけしてもらえることも増えた。 全体での台湾語寸劇発表と小テストがあるが、5分程度の発表がメイン。 ⑤原郷部落孩童教育 おすすめ！ 原住民の小学校を訪問できる、集中講義型の教養授業。 9月にチームを決めて、それぞれのチームで授業準備をして翌年1月に原住民の小学校を訪問して授業を行う。私は台湾の南部、屏東にあるパイワン族の小学校を訪れた。台湾の原住民の小学校で、中国語を使って授業をするという経験は非常に貴重なものであると思う。準備段階で難しい場面もあるが、台湾人の学生は日本人よりもすすんで外国人留学生を助けてくれるので、心配は不要だと思う。また現地では日本の文化や簡単な日本語を小学校1,2年生に紹介したが、日本の紙幣を彼らに見せた時が一番盛り上がった。
---	--

	レポートなどあるが、字数も多くないうえ、担当の先生も非常にフレンドリーで留学生にも優しい。 (後期：2月下旬～6月中旬) ⑥兩岸關係 政治系での中国大陆と台湾との政治関係に関する授業 歴史や文化など多角的な視点から台湾と中国大陆との関係を捉えることができる。正確にこの問題を理解するよい機会だと思う。基本は講義形式であるが、どのグループもプレゼンテーションが必要になる。私の場合は日本での兩岸関係に関する報道についてまとめた。中間、期末テストは選択問題だが、留学生にとっては少々難しい。 ⑦台灣文學史2 台湾文学系での台湾文学史に関する授業 3時間、ずっと先生の講義を聞き続ける授業。授業のなかで日本統治時代の文化等にも触れる。中間、期末テストは筆記式であるが、教科書等を見てもよい。ただし、授業自体は全く面白いものではない。 ⑧職場與商務實例 華語中心での留学生向け中国語授業（ビジネスレベル） ビジネス中国語を実際に即したかたちで学習することができる。 前期と同じ先生が展開する別の授業を選択した。華語中心のなかで最もレベルの高い授業であるからか、受講している学生のうちほとんどは中華圏にルーツのある留学生（ハーフ、華人など）であり、レベルは高かった。 ※日本語生活會話 交換留学を行う前に日本語の先生に連絡をして許可をもらい、日本語の授業を見学、TAのような形で授業の一部を担当させてもらうなどした。外国の大学で現地の学生がどのように日本語を学んでいるのか、また彼らの熱意がどのようなものかを知ることができたし、様々な学部学科の学生と知り合うことができた。事前に許可がいただけるのであれば、絶好のチャンスだと思う。
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	有/Yes 教育学部（日本語教育）の場合はかなり柔軟に単位交換ができるはず
授業・勉強についてのアドバイス（留学前の履修、留学中、単位取得等） / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	特に成功大学では授業のなかでプレゼンテーションが多い。ほとんどの授業において、留学生であっても前に出て 20-30 分程度のプレゼンをする必要がある。また授業前後の課題も広島大学と比較して、かなり多いと言える。そのため単位交換を希望するならば、台湾人学生と仲良くなって色々と教えてもらった方がよい。基本的に日本人留学生に対してはかなりフレンドリーで、たくさん助けてくれる。また華語中心での中国語授業は、先生によって単位取得の難易度が大きく異なる模様。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生との関係性など） / Difficulties and Challenges Faced in Classes Different from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	まず台湾人学生はすごく成績を気にしている。日本では単位があればよいと考える人がほとんどだが、台湾では就職活動でも成績証明書を提出する機会が多いからか、1点単位で気にしている。そのためどんな学生でもテストなどで高得点を取っている。また授業の様子は日本とほぼ変わらず、欧米のように学生が授業中に自由に発言するという事もない。さらに大学の教員や事務室はメール返信がかなり遅いか、無視されることさえもしばしばある。

5. 生活等について / Lifestyle		
(1) 留学先の住居について / Accommodation		
住居の種類 Type of Accommodation	大学の寮 / University Dormitory 敬業三舎（現地の修士課程学生、交換留学生用）	
住居の広さ Size of the Room	約/approximately 10m ²	同居人の有無 Roommate(s)? 有 / Yes (1人/People)
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	電気/ Electricity 水道/ Water 給湯/ Hot Water シャワー/ Shower 水洗便所/ Flushable Toilet 暖房/ Heating 冷房/ Cooling その他/ Others (給水機、冷蔵庫、ベランダ、多くの収納)	
住居費 Accommodation Fee	1学期当たり/ per month	約/ approximately 10万円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	寮の申請を行う段階で、ルームメイトは台湾人が良いと書いたため、台湾人学生と同じ部屋になることができた。何も書かない場合は日本人同士になってしまう。ルームメイトの台湾人学生とは中国語でコミュニケーションをとっていた。彼は非常にフレンドリーで、何度も食事に行ったり彼の友人とも一緒に遊びに行ったりした。また春節の際には彼の実家にお邪魔して、台湾の伝統的な年越しを経験できた。彼のおかげで台湾のことをよく理解できただけでなく、台湾での生活が充実したものになったと振り返る。 寮について、基本的には2人部屋で、トイレとお風呂は別になっている。成功大学の学生寮の中では最も新しくきれいだが、Wi-Fiではなく高層階であればインターネットの接続が悪い時間帯がある。また地下1階には洗濯機と乾燥機がある。	
(2) 医療について / Medical Care		
保険の加入先 Insurance (Who Designated)	本学指定の保険 / Hiroshima University	
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage 死亡 / Death 円 / yen, 入院1日 / per day of Hospitalization 円 / yen その他 / Others ()	
留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	無 / No ただし日本脳炎の予防接種は済ませてから渡航した。	
留学先国の医療事情（日本と比較して） Difference in Medical Service (Compared to Japan)	医療水準は日本と同程度であるため、まず心配はいらない。ただし急な症状が出た場合に救急治療室（急診室）を受診することになるが、そこでは患者が多く、時間に限りがあるためか、診断結果が出ないまま帰宅させられることもある。また中国語はもちろん、英語での対応が可能な場合が多く、心配はいらない。また保険は小規模の診療所や漢方医等でも適用可能であり、症状に合わせてこれらを利用することも可能である。	
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと Healthcare and Hygiene	台湾の南部地域では年中、熱中症とデング熱に留意する必要がある。屋外が高温の場合は「外に出ない」「屋内でエアコンをつける」のが一番である。また南部は熱帯地域であり、デング熱が発生している。学内でも症例があるほか、身近にも罹患した友達がおり、場合によっては治療に2週間程度を要するほど重症化する危険もある。対策としてはデング熱が流行し始めたら外出の際に虫よけスプレーを噴射する、就寝時には虫よけ器を使用することが好ましいかと思う。さらに近頃、台湾にて食中毒による死亡者が発生し、食の衛生に注目が集まっている。しかしそれでも衛生上の問題はなかなか改善されていない。卵を高温の屋外に放置している、見た目からして衛生的でないなど、不衛生なお店は利用しないようにするしかない。お箸などは一度ティッシュなどで拭いてから使用している台湾人も多い。	

(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと / Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management 治安は日本と変わらず良好であるし、日本人に対して友好的な態度をとってくれる人が多いため、特段の心配はいらない。何か問題が発生した場合でも、近くにいる台湾人が必ず助けてくれるはずだ。ただし、交通安全にはかなり注意するべきである。とくに南部地域の都市部では原付バイクがかなり多く、スピードも速いため危険。歩道がないところも多いほか、歩道をバイクが爆走していることも多い。またバスの運転は安全でないため、乗車時はもちろんのこと、バスの周囲を通行する際にも注意しなければならない。以上のことから、私は自分でバイクや車を運転することはなかった。
(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice 基本的に味は濃くて油っぽい分、やはり美味しい。北部と南部とで同じ料理であっても、違いがあるのでぜひ色々試してみたい。濃くて美味しい料理ばかり食べていると、胃腸の調子が悪くなったり、ニキビが急増したりした。意識して油っぽい食事（特に揚げ物）を避ける、サラダなど生野菜を食べるなどして回復させた。小さいお店などでは「清淡一點」とお店の人に言えば、味付けを調整してもらえることも多い。
(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing 台南は熱帯地域に属するため、上述の通りかなり暑い。エアコンを使用すること、外出を控えること、そして水分を補給することは欠かせない。一方で、1～2月には気温が10度を下回る日が数日あった。気温差から風邪などが急に流行するため、感染症対策も必要である。
(6) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む） / Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.) まずインターネットについて、学内には学内 Wi-Fi があるため、接続には困らず、その速度には問題がない。ただし寮には Wi-Fi がないため、スマホのインターネット共有機能を使用していた。それでも寮では高層階であったため、時間帯によってはインターネット接続ができない、あるいは遅いという状況が頻発した。 その他学内の設備について、かなり充実している。図書館やラーニング commons のような場所など、勉強するための場所はかなり充実している。（エアコンも十分） また運動場は誰でも利用できるため、安全なランニングに最適。
(7) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？） / Communication with Local Students and People (Available Opportunities?) 私は基本的に「留学先でわざわざ日本人と関わらない」という考えのもと、現地学生との交流がほとんどであった。ルームメイトやその友人、また授業で出会った学生、そして台日交流会で出会った学生などと仲良くしていた。また原住民の小学校を訪問する授業では多くの人と交流する機会があるうえ、その授業担当の教授にご友人を紹介していただき、社会人を含めて多くの人と関わりを持つことができた。台湾人はフレンドリーで日本人に対して特に友好的（稀に自慢できるような存在）であるため、友人作りは難しくないと思う。また友人を紹介してくれて、そこから仲良くなれることもある。
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners 特にない 想像以上に日本と同じ習慣やマナーがある 外国人として見られるので節度ある対応は必須（特に日本人男性の評判はそこまで良くない） 英語で話しかけられることも多い
(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring? 持っていくべきもの…日本のお土産、冬用の衣服、使い慣れた薬（日本製の薬も多く出回っているが、2倍の金額） 持っていくべきでないもの…日本食、変換プラグ（コンセントは日本と同じ） お土産として日本の物ならなんでも喜ばれるが、抹茶味のお菓子や日本の薬（湿布でもなんでも）などは特に好まれる。
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad 台湾おすすめ観光地：金門島（台湾の離島から中国大陆厦門を望める） 嘉義（落ち着いた雰囲気、鶏肉飯！） 玉井（台南からバスで1時間、マンゴーの産地） 色々なところへ旅行するのも面白い。観光地でなくても、バスや電車で小さな町に行ってみると、珍しい景色が見れたり、面白い人と出会ったり、何よりも美味しい食べ物があったりする。特に玉井はおススメ！マンゴー6個で約1000円！

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad

卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2026年 / year 3月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2026年 / year 3月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	通常通りの卒業
現在の状況および今後の 予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	民間企業への就職を希望 仕事の際に中国語を生かせるうえ、海外との接点が多いような企業を軸としている。 メーカー（海外営業職） 商社（総合、専門）
就職活動や留学前の単位 取得、教育実習等について の工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	2年2タームまでに80単位ほど取得し、2年3タームから3年2タームにかけて10か月間の交換留学を行った場合、通常通り4年間で卒業することが十分可能である。この時期以降に留学を行えば、4年間での卒業及び就職活動の実施がかなり難しくなってしまう。また教員志望であれば、教育実習を4年次に履修することで教員免許を取得しても4年間で卒業できるはずだ。 また就職活動に関しては、春節期間以降に少しずつ始めたが、オンラインで説明会や面談等を実施している企業も多く、日本国内と同じレベルで進めることができる。それでも時間がなかなか取れない場合は、offer boxなどの逆求人サイトを使って活動をすればよいと思う。中国語を自身の強みとしてアピールできれば、企業からかなり良い評価をいただける。ただし1年留学＝就活無双、というわけではないので注意。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍、サイト名 Name of Book or Website	詳細（出版社、URL等） Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments
地球の歩き方（台湾）		

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

留学期間は異なる言語を使って新たなことに挑戦する貴重な時間であると考えます。これは後で振り返ってみると、本当に幸せなことで、また誇らしいことです。今後のキャリアで何らかの役に立つことも間違いありません。ぜひ留学に行かれるのなら、主体的に様々な活動に参加したり、多くの現地学生と関わったりされると、非常に良い経験になると思います。そのうえで日本人との関わりは一切不要。どうせ1年後までには帰国です。せっかく留学に行くのだから、現地の学生や他国からの留学生とたくさん関わって、充実した日々をお送りください。

またこの報告書の内容等についてご質問などあれば国際部等を通してご連絡ください。HUSA 留学報告会でのPPTファイル等もお渡しできます。

9. 自由記述（日本語・1,200 字程度） / Feedback (English about 600 words)

- 以下の点を踏まえ、記述して下さい。 / Please give your feedback including the following points:
 - ① 留学を終えての所感 / Please describe and evaluate your study abroad experience briefly.
 - ② 留学期間中、最も印象に残った体験・出来事 / What was the most impressive experience in your study abroad experience?
 - ③ 留学の成果、留学前と比較して成長した点 / What is your achievement through the study abroad experience?
 - ④ 今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか(将来のキャリアパスも含めて) / How do you want to make use of your study abroad experience in the future including your career?

就活のESにて使用しているフォーマット（自己PRと学チカ）をそのまま添付しております。

留学ではこのような経験ができますし、多くの力も身につきます。

以下の文章の転載等はお控えください。

私は精神的なタフさをもって成功するまで挑戦するトラのような存在である。例えば交換留学中に現地の学生に向けて自身の大学を紹介する活動に参加した際には、事前にかなり入念に準備して臨んだものの、スライドすら見てくれない学生が散見され、発表後の質問も2人だけであった。その日私は失敗したと感じ、強い悔しさを覚えた。そしてまた半年後にその活動があることを知った私は、悔しいままで終われないため、もう1度参加することを決意した。2回目の発表では前回の課題分析を踏まえて、特定の大学ではなく留学自体にぼんやりと興味がある学生が多い点に配慮し、「話したいことよりも聴衆が聞きたいことを話す」という意識で発表をした。その結果、発表後は11人から質問を受けただけでなく、投票によりベストプレゼンテーション賞に選ばれた。このように失敗して悔しくても冷静に課題を分析し、最後は確実に成功を掴む私はトラに例えることができる。

留学先において台湾人学生とチームになり、原住民の小学校で授業を行った。私はそこで児童の立場に立った授業設計を提案し、活動の成功に貢献した。当初、原住民の学校で大学生が啓蒙的に授業を行うことが目的とされていた。しかしこの活動の準備として他の辺境地域にある小学校を訪問した私は、教員から「短期間で原住民の子は変わらない」というお話を聞き出せた。それでも私は、学ぶ楽しさを知ることが、今後の現地の子どもたちの学習意欲を高めるきっかけになるはずだと考えた。それを基に私は啓蒙的に知識を伝えるよりも、少しでも授業内容に興味を持ってもらうことが重要と考え、授業方針の変更を提案した。反対意見はあったが、最終的に児童らに「授業内容に興味を持ってもらう」ことを目標に授業を展開した。児童らの反応もよく、授業後に覚えた日本語を使う児童もあり、興味を持ってくれたようだ。この経験より「相手の立場に立つ力強さ」を学んだ。

- 写真を2~3枚程度、貼り付けてください（写真1枚当たりの容量は、500KB以下に縮小して下さい）。
Please add 2-3 photos (within 500 KB per a photo).

注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます（氏名及び学生番号については、非公開とします）。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。 / This report and its contents will be uploaded on website of the HUSA and Hiroshima University, browsed at the office and used for information regarding study abroad at Hiroshima University in order to provide information to students who desire to study abroad. (Student name and student number are not published). If the report and its contents are included inadequate contents to be published, it would be deleted or amended it by International Exchange Group.